

**BE
THE
PLAYER**

自分で考え

動く 生み出す

そして社会を変える

誰一人取り残さない プロジェクト 参考資料

Vision

どこからでも どこにいても BE THE PLAYER

社会とのつながりから、社会的自立につなげていく

Mission

市内全域に多様な学び場や居場所をつくり、
誰もが必要な支援にアクセスできる環境を整える

加賀市 不登校支援プラン（令和6年4月策定）

加賀市 不登校支援 プラン

加賀市は多様な学び場や居場所を作っていきます

どこからでも どこにいても BE THE PLAYER

近年、学校に気持ちが向かなくなる子どもたちが増えています。要因はさまざまですが、誰にでも起こることです。

「加賀市学校教育ビジョン」が目指すのは「そろえる」教育から「伸ばす」教育。

子どもが学校に合わせるのではなく、学校が変わっていく。そして、多様な学び場や居場所から、子どもたちを社会と未来につなげていきます。

自分で考え
動く 生み出す
そして社会を変える

BE THE PLAYER

校内 サポート

- 画一的な一斉一律の授業から「子どもが主役」の授業へ
- 学校の中の居場所の多様化
- いつでも相談できる多様な環境

校外 サポート

- 教育総合支援センターが中心となる学校や地域、関係機関との連携
- 教育総合支援センターによる、個人のアセスメント、きめ細かい支援方策のケース検討の実施
- 地域で受け入れる場の多様化

学校内の相談先・居場所



学校内外をつなぐ 相談先



学校外の居場所



校内・校外と分けることなく、市内全域に多様な学び場・居場所をつくり、様々な段階や場所に対応できるシームレスで一体的な政策を展開

メタバース上の居場所の運営（教育総合支援センター Beingさぽーとるーむ）

日時：令和6年10月17日～

月・木曜日

10時半～11時半、13時～14時

運営：教育総合支援センター職員
教育庶務課など



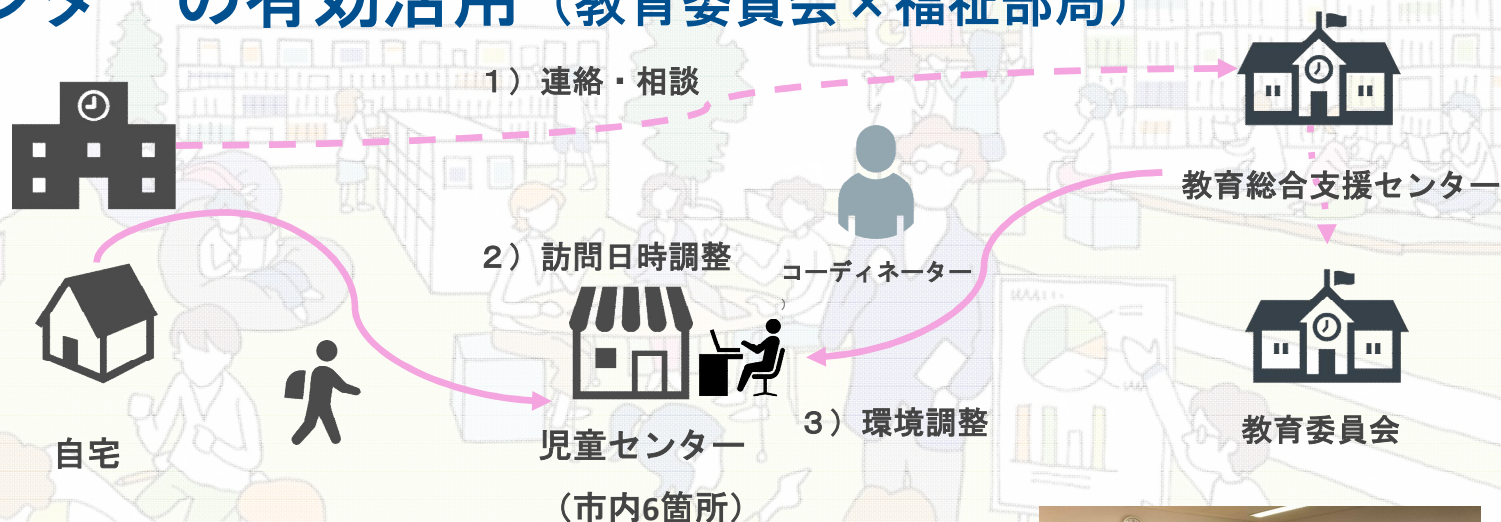
目的：対面でコミュニケーションが難しい、家から出ることが難しい
子供に対して、仮想空間上の安心安全な居場所として活用。

事業効果：開設費用を抑えられる

自己表現がしやすい（コミュニケーションしやすい）

空間の中でゲームやシミュレーションなどの様々なコンテンツ

児童センターの有効活用（教育委員会×福祉部局）



家から通いやすい地域における居場所

教育総合支援センターのサテライト的な役割の”居場所”

事業効果：既存施設の有効活用

比較的利用の少ない午前中に引きこもりや
不登校の子どもたちにも利用できる居場所となる



校内カフェ（コミュニティスクール&学校）

日時：令和7年2月19日 14時20分～15時50分

加賀市立片山津中学校

運営：コミュニティスクール委員

民生委員など 8名

参加者：90名

目的：手作りのおはぎやジュースを持参して子どもたちにふるまいながら、子どもたち自らが過ごしたい場とする。

子どもたちの声：地域の人とたくさん関われ、普段話せない話ができ、すごく楽しかった。

事業効果：コミュニティスクールや民生委員など地域の人と話す貴重な機会となった。

子どもの負担がなく気軽に実施できる。



居場所カフェ（NPO法人）

目的

学校でもない家でもない第3の居場所を高校生に提供するためにホテル内のカフェをホテルオーナーと共同でリフォーム

週2回居場所カフェとして開設（16時～19時）し、地元企業と連携しながら夏休みはこども食堂も開催を予定している。

事業効果：NPOとホテルがタイアップし、地元企業とも連携しながらこども食堂を含めた子どもの居場所づくりとなっている。



**BE
THE
PLAYER**

自分で考え

動く 生み出す

そして社会を変える

子どもの居場所にかかる 広報啓発事業 参考資料

子どもの話をしよう～おはなしひろば～

日時：令和6年10月4日(金)19時30分～20時30分

場所：湖北地区会館（加賀市柴山町も33番地）

参加者：市民8名

目的：子育て、学校、子どもの話に関する座談会

実施結果

一人の人に話が集中したりもしたが、全員参加型で話す機会となった。参加者は普段の生活で話をする事ができない子育てや子どもの居場所に関する事を話し、貴重な時間となった。

子どもを連れて来られる方の為に、入口付近に遊び場を作り、ボランティアの保育士を配置した。



みんなで考えたい！不登校の話

日時：令和6年12月22日（日）10時～12時

場所：教育総合支援センター

参加者：市内外38名+子ども3名

ゲスト：今村久美氏（NPO法人カタリバ代表・
こども家庭庁こどもの居場所部会委員など）

目的：不登校、子育て、学校、子どもの居場所
に関する講演、座談会

実施結果

加賀市以外の有識者の講演により、不登校をはじめ、多様化する子どもの居場所について参加者自身が考える時間となった。



みんなで考えたい！不登校の話～オンライン～

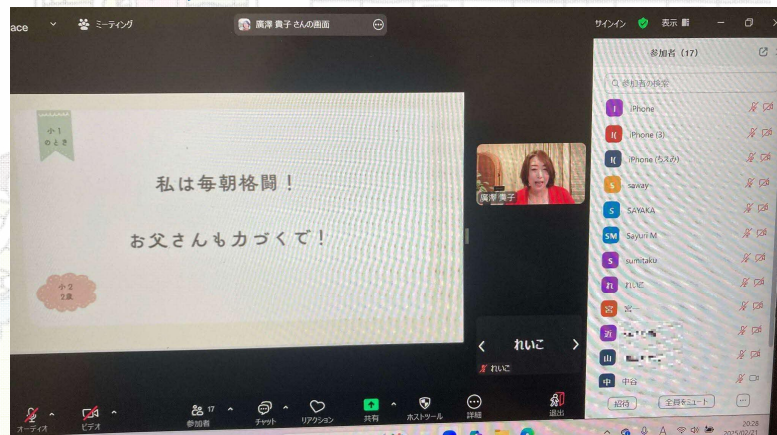
日時：令和7年2月21日（金）20時～21時

参加者：12名

目的：座談会に参加できない（オンラインでは参加できる）方向けの不登校、子育て、学校、子どもの居場所に関する講演・座談会

実施結果

コーディネーターから子育てや不登校に関する講演を行った。オンラインでは、座談会のような参加者同士が話し合う機会は難しかったが、不登校や子育てに関する話を聞きたい人が多く、平日の夜開催のニーズもあることが分かった。



BE THE PLAYER FES 子どもの居場所ブース

日時：令和7年3月20日(祝)10時～12時

場所：加賀市市民会館

参加者：約40名

目的：教育イベントと合同で子どもの居場所ブース（座談会・メタバース体験会）を実施。

実施結果

子どもの困り感などをグルーptークで実施やメタバースの保護者体験会を実施。その後の子育て相談に繋がった

